



○ 体験

19日(水)に学校法人 YIC 学園多々良幼稚園に行きました。園児とふれあう保育士・幼稚園教諭という仕事の素晴らしさを主に高校生の皆さんに感じ取ってもらいたい。それにはどんな方法があるだろうかという打ち合わせのためでした。

私の経歴はこれまでもときどき紹介していますが、主に中学校勤務でした。退職前の2年間を小学校でやってくれという県教委の辞令を見たとき、私は「なぜ最後が小学校？」という気持ちで、正直なところ少し心がめげました。しかし、児童とふれあっていくうちに子どもの成長を見守ることのできる職業に就けた幸せを感じ、平成28年度は私の教員人生の中でも最高に充実した1年間となりました。

難しさもやりがいも感じた2年間でしたが、実際に体験しないと分からないということを実感しました。教育畑に長年勤めた私でさえ小学校のことをこれまで細かくは知りませんでした。幼稚園・保育園となると恥ずかしながら未知の部分もまだ多々あります。これからの進路選択に迷い、悩んでいる高校生にとってはなおさらのことでしょう。まずは子どもたちとふれあう機会を設定したいと思っています。

さて、多々良幼稚園訪問では園長先生と話をした後、園内を案内していただきました。3歳児の子どもたちが外で砂遊びをしているところにいって、活動を見ていると私の手を握って引っ張る子がいました。ついていくと「料理を作ったからどうぞ。」ということでした。隣にいる子はつられて料理を作り始めました。周りには「このおじさんは大丈夫？」という顔で警戒している子もいました。反応はさまざまですね。おもしろい。

帰り際グラウンドで整列している子どもたちの横を通った時には、ほぼ全員一斉に顔がこちらを向きました。まるでミーアキャットの集団が天敵を警戒して見張っているような姿にも見えました。動物に例えてすみません。

「ふれあいの場」(仮称)の日程・内容等のご案内パンフレットは作成計画を始めたばかりですが、出来ましたらホームページでの紹介や各高等学校等にも配布したいと思いますので、ぜひご覧ください。今のところ保育には興味がないという高校生にも参加してほしいと思っています。“目から鱗”になるかもしれません。今のところ土曜と夏休みでの開催を考えています。

自校自賛 アクティブへの続き

2年生の集中講義「保育内容I」(健康)の授業を覗いてきました。この時間では現代の子どもたちの食生活の問題点を取り上げ、班ごとに発表していました。また、問題への改善点を指摘したり、質問を受けたりと、まさにアクティブ・ラーニングでした。私からもちょっと意地悪な質問を投げかけましたが、誠実に考えた回答を返してくれました。まだ自分自身の子育て経験がない学生ですから“空き容量”がたくさんあります。しっかり吸収しようとしている姿勢にたのしみを感じ、素敵だなと思いました。

